

List of subcamps of Mauthausen

KZ-Nebenlager Klagenfurt-Lendorf

KZ サブキャンプ Klagenfurt-Lendorf は 1943 年 11 月 19 日から 1945 年 5 月 8 日までの間クラゲンフルト地区レンドルフに設置された Mauthausen 強制収容所の外部キャンプでした。建設には KZ-Mauthausen (ドイツ、オーストリア、チェコ、ポーランド、イタリア、ロシア、スペイン、フランス、2 人のスロベニア人と 1 人のセルビア人) から最大 130 人の捕虜が連れて来られました。建設管理はクラゲンフルトの Waffen-SS と警察が行い、厩舎と SS Junker の兵舎の建設、空襲シェルター (2 つの?) の建設、そして消火池とプールの建設が含まれていました。受刑者はまた、クラゲンフルト駅周辺を中心に、多数の爆弾による被害を修復するためにも使用されました。有刺鉄線のフェンスと 2 つの監視塔に囲まれた囚人の兵舎は、第 15SS 警備隊の兵舎の外にある兵舎の庭に立っていたと言われていました。5 月 6 日と 7 日に Loibl 強制収容所に避難する前に、受刑者は収容施設を取り壊し、1945 年 5 月 8 日、収容所は解散した。

現在、SS Junkerschule が Khevenhüller 兵舎としてオーストリア軍 Jägerbataillons 25 に使用されています。2007 年 9 月 17 日、ケルンテン / コロシュカ州の Mauthausen 委員会の議長である Peter Gstettner とノルベルト・ダラボス国防大臣が記念式の盾を兵舎で発表した際、最後の生存者である Rajmund Pajer も式典に出席しました。その後、兵舎の食堂で、ワッフェン SS 兵士を描いた壁画の疎外感がグラーツの芸術家リチャード・クリシエによって発表された。



Loibl-Paß(Nord/Süd)

Loibl 強制収容所は、KZ-Mauthausen の支部として、Loibl Pass の両側の Loibltal に 1943 年 3 月に建設されました。戦争の終わりまでに、推定 1,800 人の囚人がスロベニアとオーストリアの間の国境であるカラワンケン (Karawanken) を通るトンネルを掘らなければなりません。約 40 人の受刑者が死亡するか故意に殺害された。戦略的および経済的な理由から、ナチ政権はユーゴスラビアへの輸送ルートを拡大することを決め、特にケルンテン帝国大管区指導者 Friedrich Rainer は、ケルンテン州とスロベニアとの国境に Loibl 山を通るトンネルの建設を促しました。1943 年、州建設管理局はウィーンの Universale Hoch und Tiefbau AG と建設工事を実施し、強制収容所を設立する契約を締結しました。さらに、必要な「労働者」を提供する契約が SS と締結されました。1561 メートルの長さのトンネルは、これまで唯一の接続であったものを、最大 28% の勾配のある通行路に置き換えることでした。Loibl の北と南の強制収容所が建設されました。南側では、トンネルの穴は 1943 年 3 月に始まり、6 月には北側で始まりました。強制収容所収容者に加えて、約 660 人の一般市民も収容所で雇用されていました。彼らの一部は自発的に作業に参加し Loibl に勧誘されました。最初の囚人は 1943 年 6 月に Loibl に連れて行かれました。Mauthausen では、彼らは牛車に乗せられ、強制収容所の近くにあるスロベニアの町 Trzič まで運ばれました。Trzič の住民達は SS によって移送されていく囚人に食物とタバコを送ろうとしました。囚人は主に政治的な囚人、強制労働の否認者、そして異なる国籍の捕虜でした。囚人の大部分はヴィシー政権からのサービスデュトラヴィル義務を介してドイツ帝国に送られてきた約 800 人はフランス人でした。さらに、約 450 人のポーランド人、188 人のロシア人および 144 人のユーゴスラビア人がいました。他の囚人はチェコ共和国、ノルウェー、ルクセンブルク、ギリシャ、ベルギーおよびオランダから来ました。1944 年、ハンガリーから 15 人のユダヤ人囚人がロイブルに強制送還されました。数週間後、彼らは彼女を Mauthausen に送り返しました。約 70 人のドイツ人とオーストリア人は、ほとんどがいわゆるプロの犯罪者でした。彼らは、カボス、オベルカボス、そしてシュトゥーベネレステのような野営地で主導的な役割を果たし、軽い任務を割り当てられた。

強制収容所司令官は Julius Ludolf でした。彼の指導の下で、SS の男性とカボスによって行われた虐待 "Corridas (闘牛)" が始まりました。建設会社は「虐待された多くの無力化囚人」について不満を申し立て、1943 年 8 月に強制収容所司令官は Julius Ludolf (Mai 1944 Kommandant des Nebenlagers Melk) から Jakob Winkler に換えられました。Jakob Winkler の指導の下でさえも暴力的な行き過ぎがあり、状況が悪化したという話さえあります。同じくトンネル内で働いていた民間人労働者は、被収容者と連絡をとることを許されなかった。それにもかかわらず、彼らも手紙や小包を野営地に密輸し、囚人のために外の世界やその家族と接触することで彼らを助けました。これらの民間人労働者の一人は、他の多くの人と同じように、しばらくしてパルチザンに加わりました。トンネル開通は 1943 年 12 月 4 日に達成され、その 1 年後にはすでにこれまで拡張されていたため、最初の車両が Loibl を通過できました。

労働不適切とされた囚人は Mauthausen に送り返され処分されました。キャンプドクターの Sigbert Ramsauer が、移送される受刑者の選択を担当しました。Sigbert Ramsauer は囚人の心臓にガンソリンを注射して約 30 人を殺害しました。彼はこの光景を見て「美しい死にかけている」と呼んだと言われています。さらに、彼は人体実験のために捕虜を使用しました。収容所での生活は、栄養失調、カボスの殴打や虐待、弱った受刑者同士がボクシングの試合する、いわゆる「スポーツゲーム」が行われていました。

1943 年から 1945 年にかけて、数多くの脱走の試みがありました。捕獲された囚人は Mauthausen に送り返され、そこで処刑されました。どうにかして逃げ出した人々はパルチザンに加わり、彼らと一緒に戦いました。1945 年 4 月 16 日、ケルンテン側の北部収容所はパルチザン活動の増加により閉鎖され、囚人は南側に移送されました。5 月 7 日、Nebenlager Klagenfurt からの 80 人の受刑者が Loibl に移送されました。同日、被追放者は釈放された。スロベニア人捕虜は Trzič に送られ、そこで Landwehr によって再び逮捕され、その後すぐに解放されました。他のすべての受刑者は、それらを人間の盾として使った SS の男性を伴って、ケルンテンへのトンネルを通して行進しました。Rosental で、パルチザンは最終的に SS からの受刑者を解放した。キャンプ司令官のヤコブ・ウィンクラーは、英国の法廷で絞首刑の判決を受けた。Sigbert Ramsauer は終身刑を宣告され、多くのオーストリアのナチスの戦争犯罪者と同様に、1954 年に赦免された。

